

国有林野所在市町村の魅力紹介



しもへいぐん いわいずみちよう
岩手県下閉伊郡岩泉町

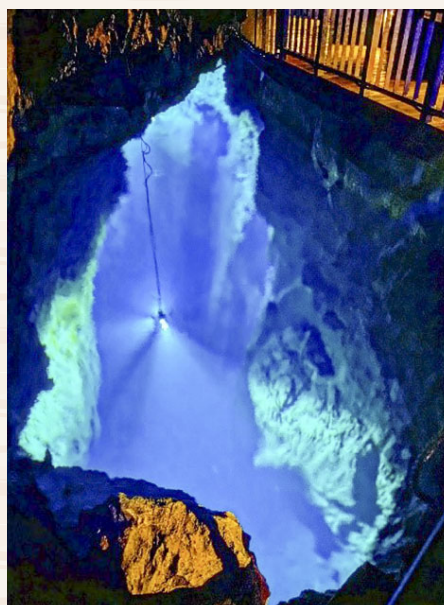
三陸北部森林管理署

岩泉町は、岩手県中央部から東部に位置し、西端の早坂高原から東端のおもと小本海岸まで東西51kmにおよび、面積は992km²と本州一広い町です。岩泉町の中心部にある「宇霊羅山」は、アイヌ語で「霧がかかる峰」が語源と言われ、町のシンボルとして愛されています。



宇霊羅山

町を代表する観光スポット「龍泉洞」は、国の天然記念物で日本三大鍾乳洞のひとつとして有名です。世界有数の透明度を誇る地底湖が絶景で、深く透明な輝きから「ドラゴンブルー」と呼ばれ、



龍泉洞地底湖山

その水は「龍泉洞の水」として広く販売されています。また、龍泉洞園地内に流れる清水川で春から秋にかけて開催される溪流釣りまつりやツリークライミング体験など、親子連れで大変賑わいます。

町の東端にある小本地区の展望台からは、景勝

地「熊の鼻」が望め風光明媚な景色が楽しめます。近くにあるもしかいがん茂師海岸は、日本初の恐竜化石「モシリユウ」の発見された地であり、化石産地や貴重な地層を観察できるため、三陸ジオパークのサイトに登録され、ガイドによるツアーも行っています。また、みちのく潮風トレイルのルートも通っており、アクティビティにもおすすめの地域です。



景勝地「熊の鼻」

広大な自然を有する岩泉町は食材にも恵まれ、中でも「岩泉ヨーグルト」は全国的に有名です。添加物を一切使わず、もちもち食感が特徴で、道の駅や首都圏のスーパーでも販売されています。ほかにも、低脂肪の赤身肉が特徴の「いわいずみ短角牛」や、昔、炭鉱夫から愛されたご当地グルメ「炭鉱ホルモン鍋」、森の王様「松茸」や練わさびの原料として日本一の生産量を誇る「畑わさび」など、紹介しきれない魅力であふれています。



岩泉ヨーグルト

お問合せ先：岩泉町経済観光交流課 Tel：0194-22-2111